

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/12)

学部・学科	臨床心理学部・教育福祉心理学科	職名	准教授	氏名	ハシモト ヨシオ 橋本 祥夫		
学歴	平成 4年 3月 大阪教育大学教育学部小学校教員養成課程社会専攻 卒業 平成23年 3月 京都教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻社会科教育専修修士課程 修了						
学位	平成23年 3月 教育学修士 (京都教育大学)						
専門分野	社会科教育学、NIE学、教師教育学						
専門資格	幼稚園教諭二種免許状 (平3幼2第4586号) 小学校教諭一種免許状 (平3小1第1403号) 小学校教諭専修免許状 (平22小専第20号) 中学校教諭一種免許状 (社会) (平3中1第4155号) 中学校教諭専修一種免許状 (社会) (平22中専第223号) 高等学校教諭一種免許状 (社会) (平3高1第4822) 高等学校教諭専修免許状 (公民) (平22高専第260号) NIEアドバイザー (日本新聞協会認定資格)						
所属学会	平成17年 5月 日本NIE学会 平成22年 5月 日本公民教育学会 平成22年10月 全国社会科教育学会 平成22年10月 日本社会科教育学会 平成26年 9月 日本教育実践方法学会 平成26年11月 社会系教科教育学会						
受賞	平成14年12月 京都市教育委員会 第1回教育実績功績表彰受賞						
担当 授業科目	学 部 初年次演習、教育福祉心理学基礎演習、教育福祉心理学演習 、教育福祉心理学演習 、教育福祉心理学実践演習 (学校インターンシップ1)、教育福祉心理学実践演習 (学校インターンシップ2)、社会						
論文指導	該当なし						
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数			
	教育福祉心理学実践演習 (学校インターンシップ2)	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験	春 ・ 秋	53名			
	授業の概要： 学校でのボランティア活動を積極的に推進し、その報告とディスカッションを 2 週間に 1 回の授業の中で、ゼミ形式で行い、担当教員とともに活動の意味について省察する。						
	教育活動の振り返り 教育活動の成果： 1 夏休みに実施される京都市教育委員会の教育実習研修会に全員参加させ、教育実習に向けての心構えや意欲、覚悟を持たせることができた。授業では、臨床心理学が専門の教員とコラボをし、教育学的視点と臨床心理学的視点から子どもへの理解を深め、教育実践力が身に付くようにした。 今後の課題： 2週間に1回の授業ということもあり、訪問記録や実習記録をなかなか提出できない学生がいた。実習記録の提出は教育実習では必須であり、記録を書く習慣を身に付けることは教育実習に向けて必要なことだが、学生の意識を十分に高められたとは言えない。繰り返し指導をする中で、学生の意識を高める工夫をしていきたい。						

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/12)

F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名 社会	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 55名
	授業の概要： 小学校社会科の本質、目標、指導の内容や方法、評価の在り方についての基礎的・基本的な教養を培う。また、教師としての基本的資質を社会科授業実践との関連で考察するとともに、社会科教育の今日的課題や授業理論について理解を深める。そのために、学年毎に適切な指導事例を取り上げて、児童の実態を視野に入れた教材研究の方法や指導の留意点を考察する。			
	2	教育活動の振り返り 教育活動の成果： グループで単元を決め、伏見・宇治を教材化した授業づくりを行った。授業づくりでは、フィールドワークを行い、地域教材の開発と教材化の工夫の指導技術を身に付けられるよう、PBL的手法を取り入れて実施した。 今後の課題： フィールドワークを実施したものの、それをどのように教材化すればいいのかわからない学生が多数みられた。また、地域素材の価値を十分に理解できない学生も見られた。フィールドワークの実施方法や地域素材の教材化についての事例学習を、今後さらに充実させていくことが必要である。		
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 ・京都文教学園110周年記念事業・京都文教大学地域協働研究教育センター開設記念事業・宇治学フォーラム「未来に残し伝えていきたい宇治学」司会・コーディネーター（平成27年2月15日、於：京都文教大学） ・2014年度 京都府南部地域まちづくりミーティング・「教育・子育て」グループファシリテーター（平成27年2月18日、於：京都文教大学） ・COC全般に関するFD / SD研修参加「『地域が学生を育て、学生が地域を元気にする』地域連携活動の試み ～名古屋学院大学の事例から～」水野晶夫氏(名古屋学院大学・経済学部・教授)（平成27年2月18日、於：京都文教大学） ・COC全般に関するFD / SD研修参加「『ひろみらプロジェクト』の学び ～活動紹介と今後の展望について～」山川肖美氏(広島修道大学・副学長・ひろしま未来協創センター長・人文学部・教授)（平成27年2月18日、於：京都文教大学） ・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 学校インターンシップで学生がインターンシップに行っている実習校を回り、学生の様子や学校の要望などを聞き、全体指導や個別の学生指導に役立てている。また、実習記録を適宜チェックし、指導が必要な学生には個別に指導している。 教職課程の社会の授業では、指導案の作成を行い、指導案の作り方がわからない学生や悩んでいる学生に個別に指導している。			
H26 年度 研究課題	1. 若年教員を対象とした社会科指導モデルの開発研究 2. 社会参画学習の授業開発研究 3. 小学校社会科におけるNIEカリキュラム開発研究 4. 市民力を育成する社会科学習の授業開発研究			
年度の 研究活動の 概要 平成二十六 (2014)	1. 若年教員を対象とした社会科指導モデルを示す著書を2冊執筆した。一つは、ユニバーサルデザインを取り入れた社会科授業であり、もう一つは社会科授業についての基本的な考え方と指導案モデルについての解説である。後述：(著書) 1, 2 2. 地域協働研究教育センター地域志向研究共同研究プロジェクト「官学連携による『宇治学』副読本作成と現場での活用に関する研究」の研究代表として、「宇治学」研究を推進した。宇治市教育委員会が開催する月に1回の「宇治学」研究会に参加し、「宇治学」の計画立案			

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/12)

平成二十六 (2014) 年度の 研究活動の概要 ひき	に参加し、助言を行った。また、北小倉小学校3年生の宇治茶をテーマにした「宇治学」の学習や三室戸小学校5年生の観光をテーマにした「宇治学」の学習の研究協力者として、授業づくりの助言を行い、授業を参観した。「宇治学」の取組の様子は、京都文教学園110周年記念事業「ともいき（共生）フェスティバル」（平成26年12月20日）で発表し、発表に至るまでの取組もコーディネートした。後述：（小中高との連携授業の講師・自治体や企業における研修等の講師）また、地域学を総合的な学習で積極的に取り入れている青森県東通村を視察し、「宇治学」の計画や副読本づくりのための情報収集、分析を行った。後述：（調査活動） 3. 情報読解力を育成する小学校社会科のNIEカリキュラムを開発し、論文としてまとめた。 後述：（論文）1 また、教育実践方法学としてのNIEの意義について論文にまとめた。 （平成27年度投稿予定） 4. 沖縄で開催された全国小学校社会科研究協議会研究大会に参加するとともに、沖縄の歴史・文化・産業についての調査をし、教材化のための資料収集を行った。後述：（調査活動）
平成二十六 (2014) 年度の 主な研究成果等	（著書） 1. 「Chapter3 社会科授業＆学習のユニバーサルデザイン」、共著（当該部分担当）平成26年9月、明治図書、亀岡正睦編著、『授業と学習のユニバーサルデザイン』（pp.40-59, 159p） 2. 「1 社会科の学習指導の概要」「2 社会科の学習指導案作成上の留意点」「3 社会科の学習事例」、共著（当該部分担当）平成27年1月、小学館、中島繁雄編、『学校生活がわかる！教師実用マニュアル』（pp.114～123, 247p） （論文） 1. 「NIEを取り入れた小学校社会科カリキュラムの改革 ―情報読解力の育成をめざして―」、単著、平成27年3月、日本NIE学会誌第10号（pp.47-56） （学会報告、学会活動） 学会報告： 1. “ Education for Energy Democracy ―Through an Experimental Class about the Issue of Radioactive Polluted Debris Processing after the East Japan Great Earthquake Disaster― ”、共同、平成26年7月、The 10th International Conference of CitizED、Birmingham University、U.K. 2. 「小学校社会科におけるNIEカリキュラムデザイン」、単独、平成26年12月、日本NIE学会第11回仙台大会・自由研究発表、東北福祉大学 3. 「教員としての『幅広い教養』を身につける教員養成プログラム ―基礎演習における新聞スクラップの取組を事例に―」、単独、平成26年12月、第1回大学NIE研究会関西・実践交流会、キャンパスプラザ京都 学会活動： ・ 日本NIE学会企画委員「平22.10より」 ・ 日本NIE学会常任理事「平24.11より」 ・ 日本教育実践方法学会理事・集会委員「平26.11より」 平成27年 2月 京都NIE合同セミナー（日本NIE学会、京都府NIE推進協議会主催）「NIEカリキュラムを考える」において、京都府内の小学校、中学校、高等学校の取組について助言、講評を行った。 平成27年 3月 教育実践フォーラム（日本教育実践方法学会主催）パネルディスカッション「教師の指導力向上を図るために、求められるもの ―現場が求める教師の指導力とは―」において、パネラーを務めた。

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/12)

平成二十六(2014)年度の主な研究成果等	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演： 1. 社会科の初志をつらぬく会 第57回全国研究集会「初志の会と道德教育」分科会(提案) 平成26年8月、名古屋大学 2. 関西社会科の初志をつらぬく会 2015年冬季集会・奈良大会(提案) 平成26年12月、奈良育英小学校 その他： 1. 「初志の会と道德教育」、単著、平成26年7月、社会科の初志をつらぬく会 考える子ども第358号(pp.10-12) 2. 「学習指導要領と新聞NIEのカリキュラム化を考える」、単著、平成26年7月、日本新聞協会 NIE ニュース第76号 3. 「公正と効率 —社会参画の感覚プラスα」、単著、平成26年10月、明治図書、社会科教育10月号No.666 特集：社会参画授業 —問題解決型の迫力ネタ55(p.73) (調査活動) 平成27年 2月 1. 小学校社会科教材研究(4年「様々な土地のくらし」、5年「日本の国土」、6年「戦争と平和」) 於：沖縄県 2. 「官学連携による『宇治学』副読本作成と現場での活用に関する研究」研究視察、於：青森県東通村教育委員会、東通村立東通小学校、東通村立東通中学校 (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 入試委員会委員、地域協働研究教育センター会議委員、小学校教員養成課程委員会、教職課程委員会、オープンキャンパス担当
平成二十六(2014)年度の社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) ・ 宇治市教育委員会 宇治学研究会「平25.9より」 ・ 京都文教大学と伏見区との連絡調整会議「平26.9より」 平成26年 8月 平成26年度夏期教員免許状更新講習(選択領域)講師、「NIE・新聞活用講座」、於：京都文教大学 平成26年10月 平成26年度秋期教員免許状更新講習(選択領域)講師、「NIE・新聞活用講座」、於：京都文教大学 (NPO法人等の団体への参画) ・ COC事業「地域志向教育研究 ともいき研究助成 住民参画型」「まきしま絆の会、宇治市、京都文教大学が紡ぐ地域連携の創造 —地域と結びつく親と子の絆づくり、子どもへの学習支援—」共同運営に参加(特定非営利活動法人まきしま絆の会、一般社団法人マキシマネットワーク、地域交流拠点 コミュニティレストラン Reos檣島、京都文教大学)「平26.10より」 (小中高との連携授業の講師) 平成26年 6月 1. 5年総合的な学習研究授業「ステューデントシティに行こう」・指導助言、於：京都市立静原小学校 2. 2年生活科研究授業「まちをたんけん大はっけん」(特別支援学級)・研究授業事前研究会・指導助言、於：京都市立静原小学校 3. 4年社会科研究授業「使った水のゆくえ」・京都市小学校社会科教育研究会4年部会授業検討会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/12)

平成二十六年 (2014) 年度の社会における活動

(小中高との連携授業の講師 つづき)

- 平成26年 7月 1. 6年社会科研究授業「今に伝わる室町文化」・京都市小学校社会科教育研究会6年部会授業検討会・指導助言、於：京都市立紫野小学校
2. 4年社会科研究授業「使った水のゆくえ」・京都市小学校社会科教育研究会4年部会授業検討会・指導助言、於：京都市立石田小学校
3. 京都文教高等学校2年生対象ALP「教員養成課程と小学校教師の仕事」、於：同校
- 平成26年 8月 1. 4年社会科研究授業「事件や事故を防ぐ」・京都市小学校社会科教育研究会4年部会授業検討会指導助言、於：京都市総合教育センター
2. 3年総合的な学習研究授業「静原川クリーン大作戦」・研究授業事前研究会・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成26年 9月 1. 3年総合的な学習研究授業「すすくすく京野菜 伝える大作戦！」(NIE授業) 京都市小学校NIE実践研究会事前勉強会・指導助言、於：京都市立明德小学校
2. 3年総合的な学習研究授業「すすくすく京野菜 伝える大作戦！」(NIE授業) 京都市小学校NIE実践研究会授業研究会・指導助言、於：京都市立明德小学校
- 平成26年10月 1. 3年総合的な学習公開授業「宇治茶発表会」(宇治学)「宇治学」研究会公開授業・講評、於：宇治市立北小倉小学校3年
2. 4年社会科研究授業「事件や事故を防ぐ」・京都市小学校社会科教育研究会4年部会授業検討会・指導助言、於：京都市立翔鸞小学校
3. 6年総合的な学習公開授業「宇治市でおもてなし」(宇治学)「宇治学」研究会・授業検討会・指導助言、於：宇治市立三室戸小学校
4. 6年総合的な学習公開授業「宇治市でおもてなし」(宇治学)「宇治学」研究会・公開授業・講評、於：宇治市立三室戸小学校
5. 4年国語科研究授業「説明のしかたについて考えよう」(NIE授業) 京都市小学校NIE実践研究会授業研究会・指導助言、於：京都市立藤城小学校
6. 京都文教高等学校キャリアプログラム「教員養成課程における大学での学び」、於：同校
- 平成27年 2月 1年生活科研究授業「もうすぐみんなにねんせい」(NIE授業) 4年総合的な学習研究授業「人にやさしい町」(NIE授業) 第5回京都市小中学校NIE・新聞研究大会・指導助言於：京都市立葵小学校
- 平成27年 3月 1. 3年社会科研究授業「地域の人々が受け継いできたもの」・京都市小学校社会科教育研究会3年部会授業検討会・指導助言、於：京都市立京北第二小学校
2. 6年社会科研究授業「世界の未来と日本の役割」・京都市小学校社会科教育研究会6年部会授業検討会・指導助言、於：京都市立大塚小学校

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成26年 5月 1. 京都市立静原小学校理論研修会講師 (教員対象) 「キャリア教育とNIE」、於：同校
2. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会講演 (教員対象) 「NIE教育の進め方」、於：京都市総合教育センター
- 平成26年 6月 全小社研京都大会 学年別課題研究会 4年部会提案内容検討会・指導助言 (教員対象) 於：京都市立西野小学校
- 平成26年 8月 1. 京都府NIE実践者懇談会・講演「学校教育におけるNIEの意義と進め方」・指導助言 (教員対象) 於：京都新聞社
2. 京都市小学校社会科教育研究会全国大会提案内容検討会・指導助言 (教員対象) 於：京都市総合教育センター
- 平成26年10月 第6回宇治学研究部会・指導助言 (教員対象) 於：宇治市生涯学習センター

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/12)

平成二十六(2014)年度の社会における活動	(自治体や企業における研修等の講師 つづき) 平成26年11月 第7回宇治学研究会・指導助言(教員対象) 於:宇治市生涯学習センター 平成27年 1月 第8回宇治学研究会・指導助言(教員対象) 於:宇治市生涯学習センター (その他) ・ 京都新聞 新聞スクラップコンクール講習会講師・審査員「平16.4より」 ・ 京都新聞 小中学生新聞コンクール審査員「平20.4より」
平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の主な研究成果等	(著書) 1. 「4年の学習課題と年間指導計画」共著(当該部分担当) 平成21年9月、明治図書、岩田一彦編著、『小学校社会科 学習課題の提案と授業設計 ―習得・活用・探求型』(pp.56-59, 158p) 2. 『知りたいな 京の森と水土里』共著、平成22年3月、京都府土地改良事業団体連合会・京都府森林組合連合会、共著者:大岩洋一他 全4名、32p(共同研究のため本人担当部分抽出不可) 3. 「情報化社会とくらしを考えよう～収集・活用・発信の大切さを知る～」共著(当該部分担当) 平成23年3月、日本新聞協会、共著者:今井互郎他 全9名、『学習指導要領に沿って 新聞活用の工夫提案 ―NIEガイドブック小学校編』(pp.18-21, 66p) 4. 「歴史新聞をつくろう～その時代の記者の視点で～」共著(当該部分担当) 平成23年3月、日本新聞協会、共著者:今井互郎他 全9名、『学習指導要領に沿って 新聞活用の工夫提案 ―NIEガイドブック小学校編』(pp.22-23, 66p) 5. 「地域に向けて発信しよう～問題を考え、解決への提言をする～」共著(当該部分担当) 平成23年3月、日本新聞協会、共著者:今井互郎他 全9名、『学習指導要領に沿って 新聞活用の工夫提案 ―NIEガイドブック小学校編』(pp.24-25, 66p) 6. 「 -B-実践7 情報社会を主体的に生きる」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.44-45, 206p) 7. 「 -B-実践8 新聞を通して社会と出会う」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.48-49, 206p) 8. 「 -コラム13 版の違い」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.166-167, 206p) 9. 「 -1. 総合的な学習における新聞づくり」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.178-179, 206p) 10. 「 -実践17 地域の課題を調べて新聞をつくる」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.180-181, 206p) 11. 「 -2. まとめの壁新聞」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.182-183, 206p) 12. 「 -3. 記事スクラップ、新聞スピーチ」共著(当該部分担当) 平成25年3月、ミネルヴァ書房、小原友行・高木まさき・平石隆敏編著、『はじめて学ぶ学校教育と新聞活用 ―考え方から実践方法までの基礎知識―』(pp.186-187, 206p) (論文) 1. 「初期社会科の理念を生かし、地域に根ざした教材化による問題解決学習の展開 ～第3学年『地域の工場の仕事 ～清水焼団地～』の実践を通して～」単著、平成21年12月、京都教育大学社会系教育研究会 京教社会第14号 (pp.3-21)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/12)

(論文 つづき)

2. 「小学校におけるNIE導入の初期指導 ―言語活動の充実を図るNIE活動―」, 単著、平成22年3月、日本NIE学会誌第5号 (pp.77-80)
3. 「市民的資質を育成する社会科学習 ―『尖閣諸島での中国漁船衝突事故の映像流出事件』の教材化を通して―」, 単著、平成22年11月、京都教育大学社会系教育研究会 京教社会第15号 (pp.3-10)
4. 「キャリア教育を中核に据えた中学年社会科のカリキュラム改善」, 単著、平成23年3月、京都教育大学附属教育実践センター機構教育支援センター 教育実践研究紀要第11号 (pp.21-30)
5. 「新学習指導要領における小学校社会科の新聞活用 ～小学校社会科教科書の分析を通して～」, 単著、平成23年3月、日本NIE学会誌第6号 (pp.109-110)
6. 「NIEにおける情報探索と学習効果に関する一考察 ―図書館・情報学の情報探索を鍵概念に―」, 単著、平成23年3月、日本NIE学会誌第6号 (pp.11-20)
7. 「小学校社会科における『情報单元』の改善とカリキュラム構想 ―英国シティズンシップのメディア单元をもとに―」, 単著、平成23年12月、日本社会教育学会 社会科教育研究第114号 (pp.1-13)
8. 「新聞を活用した情報読解力の育成 ―中等部によるNIEの実践―」, 共著、平成24年3月、共同執筆者：河合晋司・西田直樹・植田聡史、京都教育大学附属教育実践センター機構教育支援センター 教育実践研究紀要第12号 (pp.23-32)
9. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(1) エネルギーに関わる先行実践―」, 共著、平成24年3月、共同執筆者：田中曜次・水山光春、京都教育大学 環境教育年報第20号 (pp.1-12)
10. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(2) 時事問題としての原発事故―」, 共著、平成24年3月、共同執筆者：田中曜次・水山光春、京都教育大学 環境教育年報第20号 (pp.13-22)
11. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(3) 本質的因果関係の経済的考察―」, 共著、平成24年3月、共同執筆者：田中曜次・水山光春、京都教育大学 環境教育年報第20号 (pp.23-34)
12. 「情報読解力の育成を目指した社会科学習の構想」, 単著、平成24年3月、京都教育大学社会系教育研究会 京教社会第16号 (pp.22-38)
13. 「情報読解力を育成するNIEの教育的効果 ―「総合的な学習の時間」の実践を通して―」, 単著、平成24年3月、日本NIE学会誌第7号 (pp.135-136)
14. 「社会の発展を願い社会参画の意識を高める社会科学習 ―公民学習「歩くまち・京都」の実践を通して―」, 単著、平成25年3月、京都教育大学社会系教育研究会 京教社会第17号 (pp.35-44)
15. 「新聞を活用した情報読解力の育成」, 共著、平成25年3月、共同執筆者：河合晋司・西田直樹・植田聡史・宮代大輔、京都教育大学附属教育実践センター機構教育支援センター 教育実践研究紀要第13号 (pp.23-32)
16. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(その1) 市民力の構造―」, 共著、平成25年3月、共同執筆者：水山光春・田中曜次、京都教育大学 環境教育年報第21号 (pp.1-18)
17. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(その2) 震災後のエネルギーに関わる教育―」, 共著、平成25年3月、共同執筆者：田中曜次・水山光春、京都教育大学 環境教育年報第21号 (pp.19-29)
18. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組みを考える () ―(その3) 市民力を育成する授業プランの開発―」, 共著、平成25年3月、共同執筆者：水山光春・田中曜次、京都教育大学 環境教育年報第21号 (pp.31-43)
19. 「社会参画の2方向性に着目した社会科学習の展開 ―单元「エネルギー問題を考えよう」を事例に―」, 単著、平成25年3月、京都教育大学紀要第122号 (pp.41-53)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/12)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等

(論文 つづき)

20. 「社会参画能力を育成するNIE活動 —総合的な学習における新聞づくりを通して—」, 単著、平成25年3月、日本NIE学会誌第8号 (pp.1-11)
21. 「社会参画の思考構造モデルに基づいた価値分析型社会科の授業分析研究 —公民学習「歩くまち京都」を事例に—」, 単著、平成26年3月、京都文教大学 臨床心理学研究報告第6集 (pp.73-85)
22. 「問題解決学習における問題意識と学習問題に関する一考察 —初期社会科の「切実な問題」の再提起—」, 単著、平成26年3月、京都文教大学 心理社会的支援研究第4集 (pp.81-95)
23. 「NIEのカリキュラム化の現状と課題 —市全体でN I Eに取り組む自治体の実践を事例に—」, 平成26年3月、共著、日本NIE学会誌第9号 (pp.31-41)
24. 「道徳の教科化と社会科教育」, 単著、平成26年3月、社会科の初志をつらぬく会 考える子ども 355号 (pp.10-15)
25. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組を考える () —(その1) カリキュラム試案「ローカル・中学校」の視点から—」, 共著、平成26年3月、共同執筆者：水山光春・田中曜次、坂田良久、津村正樹、溝部卓司、京都教育大学環境教育実践センター 環境教育研究年報第22号 (pp.1-15)
26. 「エネルギー・デモクラシーのための教育の枠組を考える () —(その2) カリキュラム試案「ナショナル・中学校」の視点から—」, 共著、平成26年3月、共同執筆者：水山光春・田中曜次、坂田良久、津村正樹、溝部卓司、京都教育大学環境教育実践センター 環境教育研究年報第22号 (pp.17-28)

(学会報告、学会活動)

学会報告：

1. 「情報読解力の育成を目指した社会科学習の構想 —NIEを取り入れた社会科学習の授業改善—」 (自由研究発表)、単独、平成22年10月、第59回全国社会科教育学会全国研究大会、同志社大学
2. 「小学校社会科における『情報単元』の改善とカリキュラム構想 —英国シティズンシップのメディア単元をもとに—」 (自由研究発表)、単独、平成22年11月、第60回日本社会科教育学会全国研究大会、筑波大学
3. 「新学習指導要領と新聞活用 —小学校社会科学習を事例に—」 (パネリスト)、単独、平成22年11月、日本NIE学会第7回大会、京都教育大学
4. 「NIEにおける情報探索と学習効果に関する一考察 —図書館・情報学の情報探索を鍵概念に—」 (自由研究発表)、単独、平成22年11月、日本NIE学会第7回大会、京都教育大学
5. 「エネルギーデモクラシーを考える枠組みを問う」 (自由研究発表)、共同、平成23年10月、第61回日本社会科教育学会全国研究大会、北海道教育大学
6. 「情報読解力を育成するNIEの教育的効果 —日本NIE学会と日本新聞協会との共同プロジェクト報告—」 (課題研究)、共同、平成23年11月、日本NIE学会第8回大会、鳴門教育大学
7. 「社会参画の2方向性に着目した社会科学習の展開 —単元『エネルギー問題を考えよう』を事例に—」 (自由研究発表)、単独、平成24年6月、第23回日本公民教育学会全国研究大会、東北大学
8. 「エネルギーデモクラシーのための教育 () —『市民力モデル』を授業プランの開発—」 (自由研究発表)、共同、平成24年10月、第62回日本社会科教育学会全国研究大会、東京学芸大学
9. シンポジウム「学校図書館とNIE」 (シンポジスト)、単独、平成25年3月、日本NIE学会ゼミナー、関西大学初等部
10. ワークショップ「学校図書館とNIE」 (ファシリテーター)、単独、平成25年3月、日本NIE学会ゼミナー、関西大学初等部
11. 「思考力と行動力の関わりをふまえて深める社会参画学習」, 単独、平成25年6月、第24回日本公民教育学会全国研究大会・自由研究発表、岡山大学
12. 「小学校でのNIEカリキュラムを考える ～NIEのカリキュラム化の現状と課題～」, 単独、平成26年2月、日本NIE学会セミナー・基調提案、日本プレスセンター

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (9/12)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等	(学会報告、学会活動 つづき) 学会活動 : 平成21年 9月 日本公民教育学会全国大会実行委員「平22.6まで」 平成22年10月 日本NIE学会企画委員「現在に至る」 平成24年11月 日本NIE学会常任理事「現在に至る」 平成25年 7月 第9回 CitizED(シティズンシップ教育)国際会議参加、於：キャンパス・イノベーションセンター東京 平成25年10月 日本NIE学会の研究プロジェクトで、NIEカリキュラムの調査研究を行った。具体的には、全国のNIE推進協議会及びNIEアドバイザーにアンケートを実施し、NIEカリキュラムの作成状況を調査した。また、NIEカリキュラムを作成している福井県の小学校に行き、カリキュラムの作成や実施状況を調査したり、全市でNIEに取り組んでいる茨城県筑西市と愛知県一宮市に研究出張をし、教育委員会や学校関係者に聞き取り調査をしたりした。 後述 : (調査活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演 : 1. 第9回滋賀県NIEセミナー・講演「情報読解力を育成するNIE —発達段階に応じた新聞活用の実例—」、単独、平成25年2月、滋賀県立県民交流センター 2. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会総会・講演「NIEでできること」、単独、平成25年4月、京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会、京都市総合教育センター 3. 第1回山城NIEセミナー・講演「学校教育におけるNIEの意義」、単独、平成25年11月、京都府NIE推進協議会、京田辺市商工会館 報告書 : 1. 「 附属小学校における試行」、共著 (当該部分担当) 平成23年3月、平成22年度京都教育大学教育改革・改善プロジェクト (研究代表者：京都教育大学・教育学部・社会科学社会科学科 教授 水山光春) 研究成果報告書「新設共通教養科目「市民力入門」のPDCA」(pp.41-54 (研究分担者として) 59p) 2. 「第3部 総合」、共著 (当該部分担当) 平成23年8月、平成20年度-平成22年度日本NIE学会・日本新聞協会共同研究プロジェクト (研究代表者：広島大学・大学院 教授 小原友行) 研究成果報告書「情報読解力を育成するNIEの教育的効果に関する実験・実証的研究」(pp.205-261 (研究分担者として) 261p) 3. 「V-1 小学校における実践」、共著 (当該部分担当) 平成24年3月、平成23年度京都教育大学教育改革・改善プロジェクト (研究代表者：京都教育大学・教育学部・社会科学社会科学科 教授 水山光春) 研究成果報告書「新設共通教養科目「市民力入門」のPDCA (2)」(pp.44-49 (研究分担者として) 51p) 新聞記事・連載等 : 1. 「NIEのススメ」、京都新聞連載コラム「平23.3まで」 2. 京都新聞小・中学生新聞コンクール2013 講評 (平成25年12月6日付京都新聞朝刊) その他 : 1. 「新聞の活用 —プロはこう指導する」、単著、平成21年5月、明治図書、社会科教育2009年6月号 特集：社会科で大事な“学び方技能”指導のツボ (学習に必要な“学び方技能”基本のキー —どう指導するか) (pp.47-49) 2. 「誌上教材研究 イノシシによって荒らされた里地の稲田」、単著、平成22年5月、日本森林技術協会 森林技術№814 (p.9) 3. 「誌上教材研究 里地里や里山を守る牛」、単著、平成22年7月、日本森林技術協会 森林技術№840 (p.9)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (10/12)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等 つづき) 4. 「新聞活用と学習効果 ―社会を教室に持ち込む―」, 単著、平成23年5月、日本新聞協会 新聞研究№718 (pp.33-35) 5. 「小5 社会科『情報と社会』 ―自分の生活を見つめなおし、情報社会の中で、自分はどのように行動していけばいいのかを問い続ける子どもたち―」, 単著、平成23年5月、社会科の初志をつらぬく会 考える子ども第336号 (pp.55-65) 6. 「「情報ネット」単元に“最新ニュース”挿入のヒント」, 単著、平成23年6月、明治図書、社会科教育2011年7月号 特集：ニュース深読み＝時事問題ドリル43選 (小学校＝時事問題単元に“最速ニュース”挿入のヒント)(pp.42-43) 7. 「新エネルギーとは何が新しいの？」, 単著、平成23年8月、明治図書、社会科教育2011年9月号 特集：社会科“重要語彙”定着のオモシロ逸話集 (現代社会をひも解く＝ヒト・モノ・コト・コトバ)(pp.54-55) 8. 「新聞作り ―ひと工夫するポイント」, 単著、平成24年6月、明治図書、社会科教育2012年7月号 特集：夏休み宿題“社会のふしぎ探検”テーマ63 (楽しい作品作りをナビするポイント)(pp.90-91) 9. 「公民「地球社会と私たち」＝この発問→こう知覚語化」, 単著、平成24年8月、明治図書、社会科教育2012年9月号 特集：社会科の言語力 ―授業に効く知覚語78 (中学校 この単元の発問＝知覚語に大転換してチャームUP！)(p.91) 10. 「公民「よりよい社会をめざして」＝この発問→こう知覚語化」, 単著、平成24年8月、明治図書、社会科教育2012年9月号 特集：社会科の言語力 ―授業に効く知覚語78 (中学校 この単元の発問＝知覚語に大転換してチャームUP！)(p.92) 11. 「年間シラバスを踏まえた学び方指導のポイント」, 単著、平成25年3月、明治図書、社会科教育2013年4月号 特集：授業開き＝社会科好きにする特選ネタ (中学地理の授業開き＝生徒を惹きつけるネタ)(p.87) 12. 「中学地理の授業開き＝生徒を惹きつけるネタ 年間シラバスを踏まえた学び方指導のポイント」, 単著、平成25年4月、明治図書、社会科教育4月号 特集：授業開き＝社会科好きにする特選ネタ (社会科好きにする授業開きの準備のポイント)(p.87) 13. 「電気が家に来るまで＝こう図解する」, 単著、平成25年9月、明治図書、社会科教育9月号 特集：教材研究が面白くなる！図解化のワザ47 (身近な社会事象＝図解で早わかり！)(p.12) 14. 「新聞を活用した情報読解力の育成 ―中学校社会科におけるNIE実践―」, 単著、平成25年10月、日本文教出版、社会科navi.vol.5 特集：広がるNIE 基本的な考え方と授業づくり (pp.10-13)
	(調査活動) 平成25年 9月 NIEカリキュラムに関する調査、於：茨城県筑西市教育委員会、市立関城西小学校 平成25年10月 1. NIEカリキュラムに関する調査、於：愛知県一宮市教育委員会 2. NIEカリキュラムに関する調査、於：福井県大野市立上庄小学校
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)
	(学内活動) 平成25年 4月 小学校教員養成課程WG オープンキャンパス担当「現在に至る」
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託) 平成23年 8月 平成23年度教員免許状更新講習講師、「新聞活用入門講座」, 於：京都教育大学 平成24年 8月 平成24年度教員免許状更新講習講師、「新聞活用入門講座」, 於：京都教育大学 平成25年 8月 平成25年度教員免許状更新講習講師、「新聞活用入門講座」, 於：京都教育大学 平成25年 9月 宇治市教育委員会 宇治学研究会「現在に至る」 平成25年12月 平成25年度秋期教員免許状更新講習 (選択領域) 講師、「NIE・新聞活用講座」, 於：京都文教大学

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (11/12)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の社会における活動

(小中高との連携授業の講師)

- 平成25年 5月 5年国語 (NIE) 研究授業「新聞を読もう」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年 6月 1. 4年社会科研究授業「くらしとごみ」・指導助言、於：京都市立板橋小学校
2. 6年国語 (NIE) 研究授業「ようこそ、わたしたちの町へ」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年 7月 1. 6年社会科研究授業「戦国の世から江戸の世へ」・指導助言、於：京都市立大宅小学校
2. 4年国語 (NIE) 研究授業「新聞をつくろう」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年 9月 1年国語 (NIE) 研究授業「かたかなを みつけよう」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年10月 1. 5年社会科研究授業「わたしたちの生活と食料生産」・指導助言、於：京都市立高倉小学校
2. 3年国語 (NIE) 研究授業「ちいちゃんのかげおくり」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年11月 1. 3年社会科研究授業「わたしたちのくらしとはたらく人々 ～工場につくられるもの～」・指導助言、於：京都市立岩倉北小学校
2. 特別支援学級6年生国語 (NIE) 研究授業「鳥獣戯画」・指導助言、於：京都市立静原小学校
- 平成25年12月 1. 2年生活科 (NIE) 研究授業「あそんでためしてくふうして」・指導助言、於：京都市立静原小学校
2. 4年社会科研究授業「きょう土をひらく」・指導助言、於：京都市立伏見南浜小学校
- 平成26年 2月 4年社会科研究授業「わたしたちの京都府」・指導助言、於：京都市立桂徳小学校
- 平成26年 3月 1. 6年社会科研究授業「世界の未来と日本の役割」・指導助言、於：京都市立松陽小学校
2. 滋賀短期大学附属高等学校模擬授業、学問分野説明会、「小学校教師の仕事の魅力」、於：滋賀短期大学附属高等学校

(自治体や企業における研修等の講師)

- 平成21年 7月 京都府向日市立第五向陽小学校夏期研修会講師、「NIEによる『ことばの力』と情報読解力の育成 ～国語科及び総合的な学習の時間での取り組みを中心に～」
於：京都府向日市立第五向陽小学校
- 平成21年 8月 京都府NIE推進協議会 (教員対象) 京都府NIE実践者懇談会・指導助言、
於：京都新聞社文化ホール
- 平成22年 8月 京都府NIE推進協議会 (教員対象) 京都府NIE実践者懇談会・指導助言、
於：京都新聞社文化ホール
- 平成22年12月 第10回京都府NIEセミナー・パネリスト (教員対象) 「京都NIEの到達点と課題」
於：読売京都ビル
- 平成23年 2月 第1回京都市小中学校合同NIE・新聞研究大会「新聞スクラップ」(教員対象) 分科会指導助言、於：京都市総合教育センター
- 平成23年 8月 1. 第42回近畿学校図書館研究大会 (滋賀・守山大会) ・分科会講師 (教員対象) 「NIEにおける情報探索と学習効果に関する一考察」
於：立命館守山高等学校
2. 京都府NIE推進協議会 (教員対象) 京都府NIE実践者懇談会・指導助言、
於：京都新聞社文化ホール
- 平成23年 9月 平成23年度福井県教職員研修講座講師 (教員対象) 「学び合い、世界を広げるNIE研修講座 ―『生きる力』を育む新聞の活用」
於：福井新聞社会議室
- 平成23年11月 第11回京都府NIEセミナー・指導助言 (教員対象) 「新聞の教育力を見直す ～言語力向上に役立つツール～」
於：読売京都ビル

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (12/12)

平成二十一
～二十五
(2009～2013)
年度の社会における活動

(自治体や企業における研修等の講師 つづき)

平成24年 8月 京都府NIE推進協議会 (教員対象) 京都府NIE実践者懇談会・指導助言、
於：京都新聞社文化ホール

平成24年12月 1. 第12回京都府NIEセミナー・実践報告 (教員対象) 「新聞を活用した情報読解力の育成」、於：読売京都ビル
2. 第7回エネルギー環境教育関西ワークショップ・実践報告 (教員対象) 「社会参画の2方向性に着目した社会科学習の展開—单元『エネルギー問題を考えよう』を事例に—」、於：梅田エスレートビル

平成25年 2月 第3回京都市小中学校合同NIE・新聞研究大会 (教員対象) 「言語活動」分科会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成25年 6月 1. 京都市立静原小学校校内研修会講師 (教員対象) 「学校教育におけるNIEの意義」、於：京都市立静原小学校
2. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第1回小・中NIE勉強会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成25年 7月 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第2回小・中NIE勉強会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成25年 8月 1. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 小中合同NIE夏季研修会・指導助言、於：京都市総合教育センター
2. 京都府NIE推進協議会 (教員対象) 京都府NIE実践者懇談会・指導助言、於：京都新聞社文化ホール
3. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第3回小・中NIE勉強会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成25年 9月 1. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第4回小・中NIE勉強会・指導助言、於：京都市総合教育センター
2. 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第 5 回小・中NIE勉強会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成25年11月 京都市小学校NIE実践研究会・京都市中学校NIE・新聞研究会 (教員対象) 第4回京都市小中合同NIE・新聞研究会・指導助言、於：京都市総合教育センター

平成26年 1月 京都市立静原小学校 (教員対象) 研究発表会事前検討会・指導助言、於：京都市立静原小学校

平成26年 2月 京都市立静原小学校 (教員対象) 研究発表会・全体講評、指導助言、於：京都市立静原小学校

(その他)

平成16年 4月 京都新聞 新聞スクラップコンクール講習会講師・審査員「現在に至る」

平成19年 4月 京都教育大学非常勤講師 (「初等社会科教育法」) 「平25.3まで」

平成20年 4月 京都新聞 小中学生新聞コンクール審査員「現在に至る」

平成23年10月 立命館大学非常勤講師 (「子どもと学習活動」) 「平25.3まで」

平成24年 4月 立命館大学非常勤講師 (「道德教育論」) 「平24.7まで」

平成25年10月 立命館大学 (産業社会学部) 非常勤講師 (初等教職課程科目「初等教育実習の研究A」)